

母性看護学実習（2単位）

実習目的

1. 母性を取り巻く環境を理解し、母性看護のあり方について考える。
2. マタニティサイクルにおける母子の健康問題を理解し、対象と家族に応じた看護実践について学ぶ。

実習構成

実習名	単位数	対象学年	実習施設	
母性看護学実習	2単位	3年次	静岡済生会総合病院 北3階病棟 北4階病棟 産婦人科外来	1.8単位
			助産所 おしか助産院 たまがわ助産院 己智助産所	0.2単位

1. 実習目標

1) 実習目標

- (1) 妊産褥婦および新生児の正常な経過を理解する。
- (2) 妊産褥婦がより健康な経過を送るための看護がわかる。
- (3) 早期新生児が胎外生活に適応するための看護がわかる。
- (4) 母性看護における継続看護の必要性がわかる。
- (5) 地域における母性看護の実際がわかる。
- (6) 生命の尊厳と母性看護のあり方を考える。
- (7) 母性を取り巻く保健・医療・福祉チームにおける看護の役割・責任について理解する。

2) 行動目標

【妊娠期】

- (1) 妊婦健康診査の目的を述べる。
- (2) 妊娠各期に必要な指導の内容を述べる。
- (3) 妊娠経過や胎児の発育状態に応じた看護の必要性を述べる。

【分娩期】

- (1) 分娩各期の経過と母体の生理的変化を述べる。
- (2) 分娩経過に応じた看護について述べる。
- (3) 出生直後の母児接触の意義を述べる。

【産褥期】

- (1) 対象の産婦の分娩進行状態の情報を収集し、正常な分娩経過と比較し述べる。
- (2) 対象の退行性・進行性変化を観察し、産褥期の生理的経過と関連づけてアセスメントする。
- (3) 産褥期の復古現象を促す援助を述べる。
- (4) 母乳分泌、新生児の哺乳状態の観察に基づき、哺乳の援助を述べる。
- (5) 母と子の絆を形成する援助を述べる。
- (6) 対象の家庭・社会環境から退院後の生活のサポート、育児環境について述べる。
- (7) 保健指導を見学し、個々の褥婦に応じた保健指導の必要性を述べる。

【早期新生児】

- (1) 対象の生理的特徴を観察し、正常な早期新生児の生理的経過と比較し述べる。
- (2) 子宮外生活へ適応し正常な経過を促すための援助を述べる。

【助産所】

- (1) 助産所の理念や活動を述べる。

2. 実習方法

【産婦人科外来】

- 1) 病棟実習期間中、産婦人科外来実習を行う。実習日時の調整は受け持ち事例の経過を考慮の上、実習指導者、担当教員と調整する。
- 2) 産婦人科外来で行われる妊婦健康診査・助産師による保健指導を見学する。
機会があれば産後の健診を見学する。

【北3階病棟】

- 1) 経膈分娩または腹式帝王切開術の見学をし、分娩期の経過や看護を学ぶ。
- 2) 病棟で行われている看護を見学し、異常妊娠および合併症妊娠の妊婦の看護を学ぶ。
- 3) 機会があれば、実習指導者と共に援助を実施する。

【北4階病棟】

- 1) 1組の母子を受け持ち、看護過程を展開する。
- 2) 受け持ち対象の選択および調整は実習指導者及び担当教員の指示に従う。
- 3) 病棟で行われている保健指導については原則として受け持ちの対象と参加する。
- 4) 機会があれば、実習指導者と共に援助を実施する。

【北4階病棟（新生児室）】

- 1) 行われている看護を見学し、早期新生児期の観察と子宮外生活へ適応し正常な経過を促すための援助について学ぶ。
- 2) 機会があれば、実習指導者と共に援助を実施する。

【助産所】

- 1) 地域における助産師活動を見学し、母性看護を学ぶ。

3. 留意点

- 1) 主体的に学習し、積極的に実習に取り組む。
- 2) 倫理的配慮を行う。
 - (1) 対象を尊重した対応をする。
 - (2) 対象の自己決定の権利を尊重する。
 - (3) 対象のプライバシーの保護に十分な配慮を行う。
- 3) 感染対策を徹底し、手順を正確に行い安全な看護援助を提供し、事故防止に努める。
- 4) 自己の役割を認識し、責任ある行動をとる。
- 5) 以下の“実習の準備”を念頭に置き、実習する。
 - (1) 母性看護実習の目的、目標を十分に把握しておく。
 - (2) 母性看護学実習に備えて、各自事前学習を計画的に進める。
 - ①母子保健、母子に関する法律・施策、母子看護の提供システム
 - ②妊娠、分娩、産褥期の生理的経過と看護
 - ③早期新生児の母体外生活への適応過程における生理的経過と看護
 - ④妊娠、分娩、産褥期のハイリスクな状況と看護
 - ⑤母子看護に有用な概念・理論
母親役割 ルービン, R.
母性論・愛着形成 Bowlby, j
親子(母子)相互作用 クラウス, M. Hとケネル, J. H
 - ⑥母性看護における保健指導
 - ⑦母性看護の技術
- 6) 実習を通して、生命(いのち)の尊厳・ライフサイクル各期の女性に対する母性看護の役割を考え自己の母性(父性)を認識し、自己概念を発展させる。
- 7) 実習終了後に実習での学びをレポートにまとめる。